

女性(45～64 歳)の就業率の変化

－61 歳の女性就業率が 10 年間で 10.7 ポイント上昇－

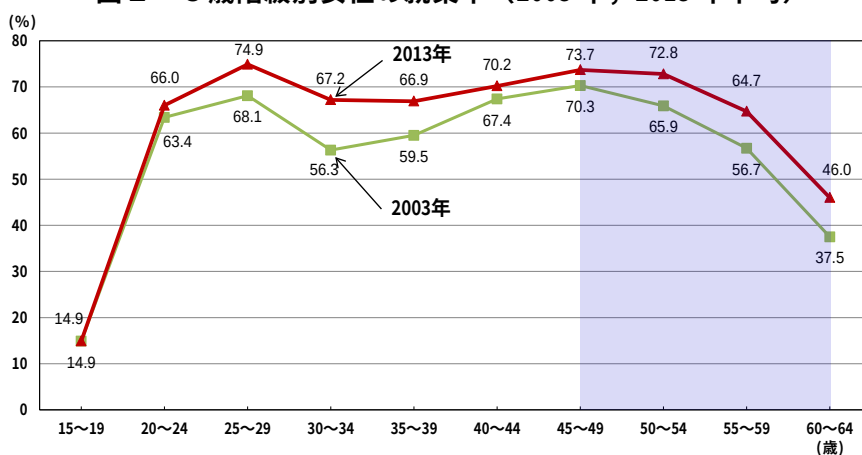
女性の就業率は近年上昇しています。45～64 歳について各歳別にみると、2013 年までの 10 年間で全ての年齢の就業率が上昇しており、特に 61 歳では 10.7 ポイント上昇しています。また、月末 1 週間の就業時間は、35 時間未満の人の割合が増加しています。

女性の就業率を年齢階級別にみると、M字カーブを描きます（注1）。2013 年平均の結果を 10 年前の 2003 年平均と比較すると、30～34 歳で 10.9 ポイントと最も上昇し、M字の底が上昇しているのが分かります（注2）。また、45 歳以上の各年齢階級においても就業率が大きく上昇しています（図1）。今回は、この 45～64 歳の女性の就業率についてみてみます。

（注1）M字カーブは労働力人口比率により作成される場合が多いが、ここでは就業率に用いている

（注2）参考：労働力調査ミニトピックス No.11 「女性の就業率上昇－M字カーブの変化－」

図1 5 歳階級別女性の就業率（2003 年，2013 年平均）

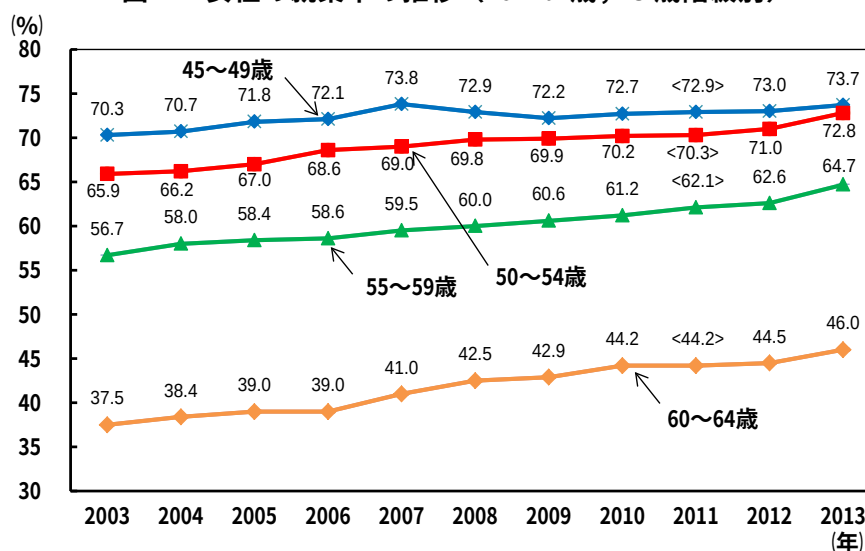


2013 年平均の女性の就業率は、50～54 歳，55～59 歳及び 60～64 歳で過去最高

45～64 歳の女性の就業率を 5 歳階級別にみると、ここ 10 年間で全ての年齢階級において上昇傾向にあります。2013 年平均では 50～54 歳で 72.8%，55～59 歳で 64.7%，60～64 歳で 46.0%と、過去最高となりました（注3）（図2）。

（注3） 比較可能な 1968 年以降

図2 女性の就業率の推移（45～64歳，5 歳階級別）

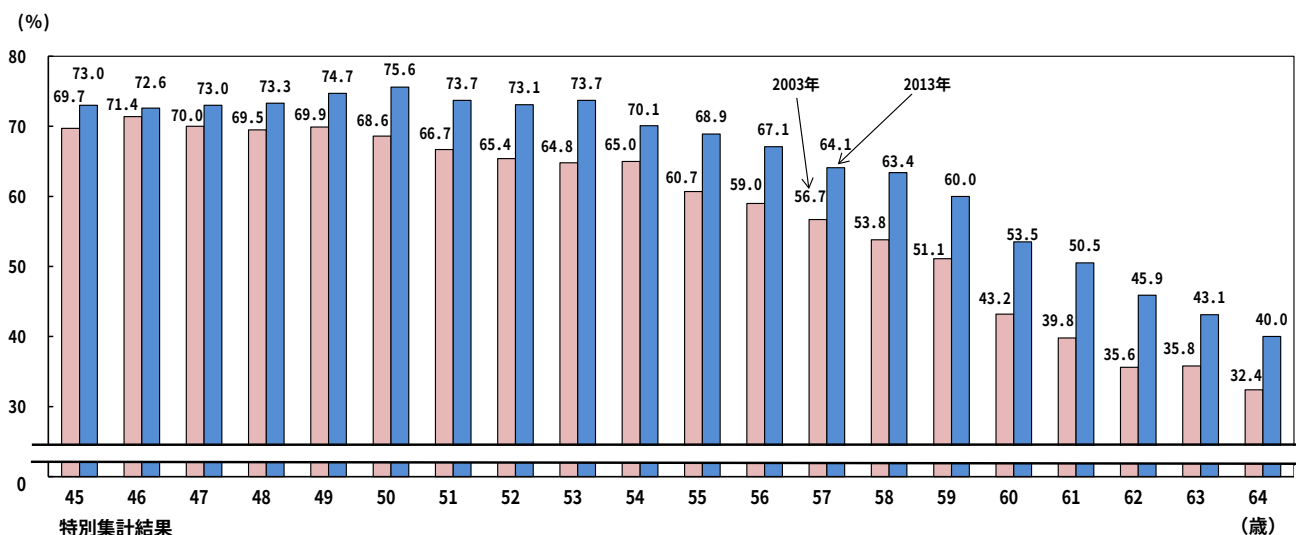


※ 2011年の<>内の数値は東日本大震災の影響により補完的に推計した値(2005年国勢調査基準)である。

61歳の女性の就業率は10年前に比べ10.7ポイント上昇

2013年平均の女性の就業率について、各歳別に10年前と比較すると、45歳から64歳までの全ての年齢において上昇しています。特に61歳の上昇幅が最も大きく、10.7ポイント(39.8%→50.5%)となっています(図3)。

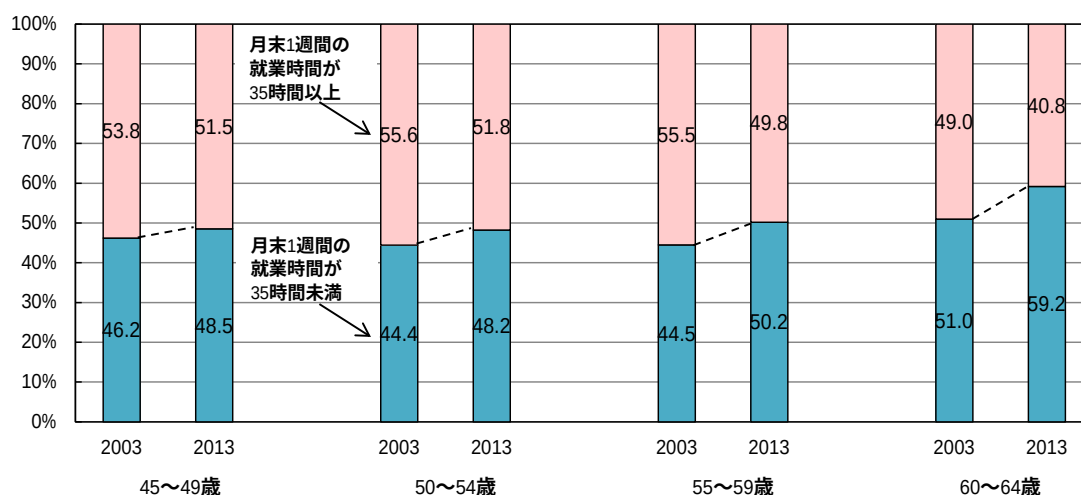
図3 各歳別女性の就業率(2003年, 2013年平均)



60～64歳の女性の月末1週間の就業時間は、35時間未満の割合が8.2ポイント上昇

月末1週間の就業時間が35時間未満の従業者の割合を5歳階級別に10年前と比較すると、全ての年齢階級において35時間未満の従業者の割合が上昇しています。特に60～64歳の上昇幅が最も大きく、8.2ポイント(51.0%→59.2%)となっています(図4)。

図4 月末1週間の就業時間(2区分)別従業者数の割合(2003年, 2013年平均)



・「月末1週間の就業時間が35時間未満の従業者」は、月末1週間の就業時間が1～14時間の従業者と15～34時間の従業者の合計
 ・割合は、「月末1週間の就業時間が35時間未満の従業者」と「月末1週間の就業時間が35時間以上の従業者」の合計に占める割合を示す

(参考) より詳しいデータはこちら

【図1, 図2に関する結果表】

◆ (2003年, 2013年平均) [年齢階級\(5歳階級\)別就業者数及び就業率](#) (長期時系列表3(3))

【図3に関する結果表(特別集計)】

◆ (2003年, 2013年平均) [45歳～64歳の各歳別の人口, 就業者数, 就業率](#)

【図4に関する結果表】

◆ (2003年平均) [農林業・非農林業, 年齢階級, 週間就業時間別就業者数](#) 第12表

◆ (2013年平均) [農林業・非農林業・年齢階級, 月末1週間の就業時間別就業者数](#) 第Ⅱ-9表

(2014年3月28日掲載)